

西区在宅ケア連絡会 305回例会

令和6年度 第2回 西区地域ケア推進会議報告

～ 認知症の人が地域の中でも尊厳を持って生活すること、共に
支え合って生きることができる社会(地域共生社会)に向けて ～

日時 : 令和7年8月21日(木) 18:30 ～20:00
場所 : ちえりあ2階中研修室1
発表者 : 西区第1地域包括支援センター センター長
中出 浩二

1

令和6年度 第1回西区地域ケア推進会議では・・・

【認知症の方がより早期に適切な受診につながる為の取り組みを進める】

- ・ 早期受診のメリットの啓発活動
- ・ 健康への意識付けとして、各職能団体でのリーフレットの配布依頼
- ・ 関係者間での西区の認知症施策の周知活動の拡大
- ・ セルフチェックを促すために認知症リーフレット三つ折り版を活用



★現在も周知先の拡大や配架方法の工夫を行うと共に、認知症リーフレットの配布実績
などを集約して効果的な配布について検証しています。

2

令和6年度 第1回西区地域ケア推進会議の検討結果

【認知症に気付いた時に見守り・支え合い、相談できる地域づくりを目指す】

- ・ 認知症の方をはじめ、疑いがある方、元気な方も含めて、社会参加し続けられるためにはどうすれば良いか。
- ・ 顔の見える関係づくり、馴染みのある店舗への普及活動
- ・ 福祉教育を小さいころから行えるよう、教育機関にもアプローチする。
- ・ 地域の方が利用するような店舗など、身近な支援者を増やす。
- ・ より幅広い年齢、職種に認知症（知識や予防方法、関わり方など）について浸透させる。
- ・ 地域住民や企業を巻き込んで、自分事として取り組める仕組みを地域と一緒に考える。

3

今後の取り組みについて

「認知症になったとしても誰もが安心して暮らせ、周囲の人も受け止め・支えられるまちを目指す」ために、今後取り組んでいく課題。

- 現在取り組んでいる西区の認知症施策の継続と、今後取り組むべき内容の具体化。
- 西区の認知症施策が浸透していない地域や企業に向け、認知症に関する知識や考え方の普及促進を行い、横のつながりの強化、認知症にやさしい環境を整えていく必要がある。

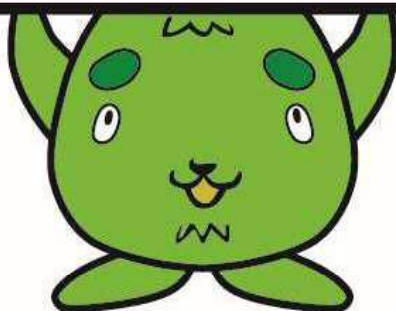


つづく！！

4

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を
持って暮らすことができる

共生社会の実現へ・・・



5

誰もが認知症になるかもしれない・・・？
だからこそ自分事として考える時代へ！

急速な高齢化に伴い、我が国の認知症の人の数は増加している。

令和4（2022）年の認知症の高齢者数は約443 万人。

軽度認知障害の高齢者数も約559 万人と推計され、認知症の方との合計は1,000 万人を超える。高齢者の約3.6 人に1人が認知症又はその予備群といえる状況。

一人ひとりが認知症を自分事として理解し、自分自身やその家族が認知症であることを周囲に伝え、自分らしい暮らしを続けていくためにはどうすべきか、考える時代へ。

令和5（2023）年6月、共生社会の実現を推進するための認知症基本法が成立しました。



～認知症施策推進基本計画より～

6

西区の人口について

総人口

218,819人

(10区中5番目に多い)

高齢者人口

62,749人

(10区中3番目に多い)

高齢化率

28.7%

(10区中5番目に高い)



高齢者の約3.6人に1人が認知症又はその予備群とすると、今の西区の中には…〇〇人?!

令和6年10月1日現在

7

新しい認知症観を西区民全体で考えていこう！

「新しい認知症観」とは…？

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。



「共生社会」の実現へ！



8

西区の認知症施策

西区では“認知症にやさしいまち西区”をスローガンに、様々な認知症普及啓発活動を幅広い年代にアプローチしてきました。

- ①認知症にやさしいまちリーフレットの配布・配架
- ②認知症カフェの活動支援
- ③ケア友の会の実施
- ④認知症パネル展の実施
- ⑤認知症サポーター養成講座⇒認知症サポーターフォローアップ講座
- ⑥認知症医療機関マップの作成(R7.3月末完成予定)
- ⑦その他

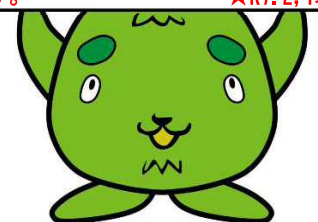
9

①認知症にやさしいまちリーフレットの配布・配架状況



三つ折り版

西区全体で配布3,520部（A4：3226部、三つ折：975部）、配架443部となっています。★R7.2.1現在



【R6.4月～R7.1月の配布・配架枚数】

★医療機関、薬局、一般住民、民生委員、町内会、介護予防教室、在宅ケア連絡会等様々な所に配架・配布を行っています。

10

②認知症カフェの活動支援について

SAPP_{RO}

札幌市認知症カフェ認証

札幌市が認証した認知症カフェは、看板やチラシに認証マークがついています。



★認知症カフェとは・・・「認知症の人と家族、地域住民、専門職などの誰もが参加でき集う場」です。特に参加者が気軽に交流や相談ができる場、認知症の人と地域高齢者の社会参加の場です。

西区にある

札幌市認証 認知症カフェ MAP

SAPP_{RO}



11

③ケア友の会の実施

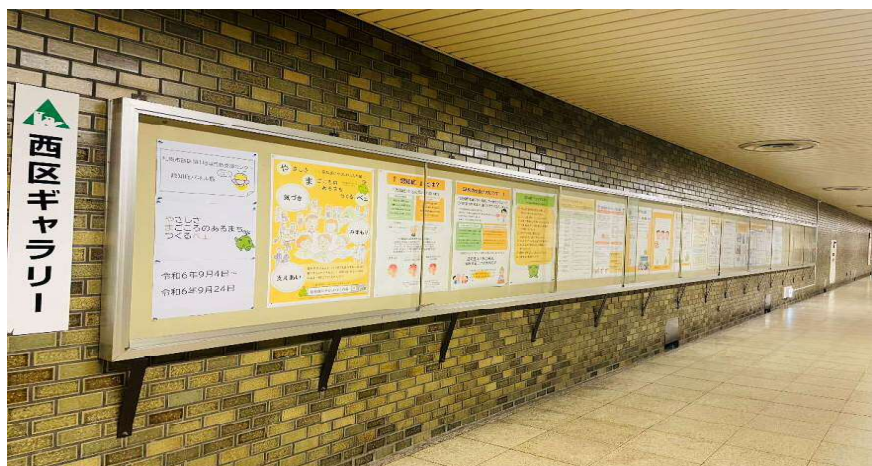


認知症の方の介護者のうち3割は男性と言われていいます。西区では認知症の方を介護する男性を対象に、ケア友の会を毎年開催しています。介護についての悩みや思いを話したり、情報交換しています。

12

④認知症パネル展の実施

【地下鉄琴似駅構内での展示の様子】



毎年、様々な場所で認知症に関する事をパネルにして区民の方に情報提供しています。多くの方の目に留まる様に内容にも工夫しており、認知症当事者の方の声も掲載しています。



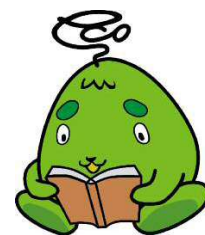
13

⑤認知症サポーター養成講座

【山の手高校717名への認知症サポーター養成講座の様子】



認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し認知症の正しい知識や接し方などを学び、認知症の人やその家族を支援する人を養成する講座です。幅広い世代へ普及啓発しています。



14

⑥認知症医療機関マップの作成

【令和7年3月末完成予定】



⑦その他(RUN伴北海道)

【令和6年10月11日(金)に開催したRUN伴西区やまべエチームの様子】



**RUN伴（ランとも）は、認知症の
人や家族、地域の人、商店、医療
福祉関係者などが、タスキをつな
ぎながら沿道を走るイベントです。
認知症の人でも地域で伴に暮らす
隣人であることをタスキをつなぎ
ながら体験し、認知症の人と誰も
が暮らしやすい地域づくりを提案
しています。**

西区の現状について

《西区の現状》

- 西区では、認知症に関する地域への様々な普及活動を行ってきました。幅広い世代に様々な媒体を活用し周知活動を行っており、認知症に関する相談窓口として地域包括支援センターや介護予防センターへの相談も多く寄せられている。
- 認知症疾患医療センターをはじめ、西区内には認知症サポート医も多く、認知症施策を行うネットワークを構築しやすい現状がある。
- 認知症サポーター養成講座を通じ、認知症またはその疑いのある方への理解を深めようとする企業や学校などが増えており、幅広い世代へ伝達していける風土がある。

西区の現状について

《西区の現状》

- 軽度アルツハイマー病の方へ、進行を遅らせる薬が国内で使えるようになったが、軽度認知障害の段階で早期受診に繋がることは少なく、地域ぐるみで早期に医療機関へ導く仕組みが確立されていない。
- 早期に医療機関を受診しても、専門外もしくは問題なしと診断されてしまうと、重症化するまで医療機関に繋がらないことも多く見られる。

西区の現状から導き出された要因

- 1, 新しい認知症観に関する啓発が不足しているほか、地域資源自体やそれらに関する情報が不足している。
- 2, 認知症の人と家族が希望を持って暮らせるように、地域住民や関係機関、社会資源につながる体制が十分ではない。
- 3, 認知症の人が希望を持って暮らせる社会をつくる為に認知症に対する知識を持ち地域や職域で認知症の人やその家族に寄り添う認知症サポーターの養成やサポーターの活躍の場づくりが十分ではない。
- 4, 独居の認知症高齢者も増加しており、社会的支援につながりやすい地域づくりを進めている段階である。
- 5, 認知症になっても可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくため、地域の商業施設や公共機関等での認知症バリアフリーの取組が十分ではない。

今後の西区に求められていく事

認知症になったら何もできなくなるという考え方は、現在も根強く残っており、認知症になることを受け入れることが難しい状況があり、認知症の人の社会的孤立、認知症の人の意思が十分に尊重されない状況がいまだにみられている。

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人ができること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる地域社会にシフトするための西区独自の認知症施策を具体化する時がきている。

令和6年度第2回 西区地域ケア推進会議 モニタリング報告

- ① 認知症や障害があっても、周囲の人もそれを自然体で受け止めることができる社会であるために、今の西区でできる事は・・・？
- ② 専門職(介護、医療、保健)と地域住民、認知症サポーターそれぞれのネットワークを強化するためにできることやこうなったらいいなと思うことについて。

- ① 認知症、障害のある人、その家族が暮らしやすい社会に向けて病院・事業所・地域等の中で取り組んでいる事がありますか？(今後取り組む予定など)

地域包括支援センター

- ・ 認知症サポーター養成講座の実施。
- ・ 認知症の方にもやさしいお店・事業所ステッカー事業を認サポを実施した所へアプローチする。
- ・ フレイルマネジャーから対象者へ郵送時に地域の交流の場のチラシなど情報を郵送。
- ・ 介護者の集いの開催
- ・ 認知症パネル展
- ・ 広報誌（昨年度、冬号で認知症チェックシートや認知症カフェについて周知。今後も何らかの周知可能。）
- ・ 障がい事業所との勉強会（8050事例を通して）
- ・ 多職種連携や地域に身近な相談事業所としての普及啓発(事業所や地域の企業との関係性強化を目指し、こちらから情報提供を積極的に行っていきながら、それぞれが抱える課題やニーズについて把握していく)

介護予防センター

- ・ 認知症カフェや当事者研究会や交流会などコミュニティカフェふうしゃで開催している。
- ・ 知症関連イベント実施（包括支援センターと共催）
- ・ 認知症にやさしいまち西区リーフレット配付 町内会回覧
- ・ 地域と認知症や障害に係る事業所をつなぐような取り組みをはじめている。

各委員から(敬称略)

医師会西区支部代表

- ・西区在宅ケア連絡会では、これまで医療や介護に限らず障害者の置かれている状況に関しても知見を深めて来た。今後は障害を有しているピアサポーターの話を直接聞く機会を持つことを計画している。
- ・所属する医療機関では、もの忘れ外来を設置し、認知症の方の診療に取り組んでいる。今後は周囲の方々への活動が一層必要であると、周知していきたい。

社会福祉協議会代表

- ・区社協においては毎年、障がいへの理解を深める講座やボランティア入門研修会の開催などを通して、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進しています。また、地域においても福祉のまち推進センター主催による障がいを理解する研修会や認知症に関する講座を実施しており、お互いに支え合えるまちづくりに向けた取り組みが行われています。

介護支援専門員協議会代表

- ・現時点では、認知症や障害のある方、そしてそのご家族様が安心して過ごせるように、日々の支援の中で、お1人おひとりの声に耳を傾けることを大切にしています。

② 専門職(介護、医療、保健)と地域住民、認知症サポーターそれぞれのネットワークを強化するためにできることやこうなったらいいなと思うことについて自由にお答えください。

地域包括支援センター

- ・ボランティアへ意欲のある方へ活躍先を明確にする。また具体的にボランティア活動でやってみたいことをアンケートをとり、包括のボランティア登録などシステムがあると意欲を無駄にしないでいいと思う。
- ・ボランティア登録した方のみが閲覧できるサイトで〇月〇日どこどこでボランティア参加可など確認できて、参加したい場合に申し込みできるシステムがあると良い。
- ・若年性認知症の当事者が参加できるような場の提供。サポーターと当事者と活動の場があると良い。地域の企業や商店街の方々、介護サービス事業所と顔の見える関係を作り、橋渡しできるような場を作っていくことが必要。

社会福祉協議会委員代表

- ・認知症になってもこれまでと同じように、地域の馴染みの集いの場（サロンやすこやかクラブなど）に、気軽に参加し続けられるようなサポート体制を構築するため、認知症サポーターと地域住民が上手につながれるようなしくみができたら良いのではないかと思います。

介護保険サービス事業所の代表

- ・地域で行っている活動や支えあい活動など知る機会があればよいと思います。認知症カフェなどや事業所などを見学して貰うなど、お互いを知る機会が増えれば良いと思います。

医師会西区支部代表

- ・北海道医療計画に示されている「在宅医療に必要な連携の拠点」が2025年度指定され、西区では、西区在宅ケア連絡会と協働する形で「区域拠点」が指定された。種々のネットワークが、この「拠点」をハブとして繋がり様々な課題について一緒に検討していくことが重要と考える。
- ・地域ケア会議は在宅医療・介護連携推進事業等と共に包括的支援事業の一部である。在宅医療・介護連携推進事業は、上述した「連携拠点事業」と連携することが求められている。地域ケア会議も、「西区区域拠点」と一層連携を強化することが、その機能に包含されたネットワーク構築機能を大いに発揮することになると考える。

介護支援専門員協議会代表

- ・「顔の見える関係」と「双方の交流や情報共有」が大切だと思います。認知症カフェや地域行事などに専門職が積極的にに関わり、住民と自然に顔を合わせる機会を作ること、相談しやすい関係が築けるのではと感じます。また「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」など、共通のテーマで意見交換や事例共有の場を設け、専門性と地域性を生かした協働を目指したり、インスタなどのネットワークも柱になるかもしれません。地域づくりの一員として主体的に関われる場や仕組みが必要だと感じます。

各委員から(敬称略)

福祉のまち推進センター代表

- ・町内会活動として高齢者の見守りを行う中で対面により接しながら認知症を確かめ次のフォローなどができるように配慮している。

民児協会長の代表

- ・町内会では、自主的な体操サークル、老人クラブ又、地域のすこやかサロン等こもりがちな高齢者が参加しやすい活動や町内会運動会、夏祭り、花火大会、音楽会等地域ごとに取り組んでいます。又、サロンも色々な所で行い、元気で住み良い町にと工夫されています。

保健・医療・福祉等関係者代表

- ・各地域での見守り活動の継続。
- ・平日事務所での相談と関係団体への連絡、相談先の周知。

今後の取り組み課題について

残された課題として

○「新しい認知症観」の啓発、認知症の早期発見・早期対応の仕組みづくり、地域支援体制の強化等については、西区内の関係機関で行ってきたところであり、引き続き取組を進めていくことが求められています。

認知症地域支援体制の強化及び共生社会の推進に向けて、現在の取組を基盤とし令和8年度は、西区でのチームオレンジの体制構築を図ることとなります。

そこに向けて、認知症リーフレット、認知症の方にもやさしいお店・事業所のステッカー事業、西区認知症診療医療機関一覧などによる普及啓発、認知症サポーターの養成、認知症当事者も地域を支える一員として社会参加できる基盤をつくっていく。



今後も継続して取り組む課題として

- ★新しい認知症観の啓発、認知症の早期発見・早期対応に向けた継続した普及啓発活動の継続
- ★認知症の方にもやさしいお店・事業所を西区内に増やし西区全体で認知症の理解を広めていく。
- ★認知症の理解を幅広い世代へ伝えていくために・・・、認知症にやさしいまち西区。
- ・認知症医療機関マップの普及・認知症の方にもやさしいお店・事業所ステッカーの普及
- ・認知症サポーター養成講座、フォローアップ講座による認知症サポーターの養成

「認知症の方にもやさしいお店・事業所」募集しています！

札幌市では、認知症の方や家族を温かく見守っていただけるお店・事業所を札幌市「認知症の方にもやさしいお店・事業所」として登録する制度を推進しています。

認知症の方にもやさしいお店・事業所 検索

【ステッカーデザイン】

認知症の方にもやさしいお店・事業所とは？

「認知症の方にもやさしいまちづくり協力宣言」をしているスーパー、理髪美容といった地域の身近なお店や事業所のことです。※介護事業所は対象外

登録の基準は？

登録基準は、以下のすべての項目を満たすお店・事業所とします。

- ☑ 「認知症の方にもやさしいまちづくり協力宣言」に賛同すること。
- ☑ 札幌市リジナルステッカーを店舗等の目立つ位置に掲示する意思があること。
- ☑ 本市が実施するアンケート調査等に協力すること。

認知症の方にもやさしいまちづくり協力宣言とは？

以下の全ての項目に賛同すると、「認知症の方にもやさしいまちづくり協力宣言をしている」こととなります。

- ☑ 認知症サポーター養成講座の受講等、認知症について理解を深めるよう努めます。
- ☑ 「認知症の方への対応の心得」を意識して、やさしく、ゆっくり、丁寧に対応します。
- ☑ 認知症の方が、安心して暮らすことができる地域づくりのための取組を可能な限り推進します。

登録店舗・事業所の取組例は？

- ★ 普及啓発に関する協力（ポスター、チラシの掲示など）
- ★ バリアフリーの取組など、利用しやすい店舗づくり（見やすい陳列など）
- ★ サービスの工夫（ゆっくり支払い専用レジ、休憩用椅子の配置など）



【提出先】札幌市介護保険課認知症支援担当係
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
札幌市役所本庁舎3階 TEL 211-2547 FAX 218-5117
メールアドレス：ninchishoshien@city.sapporo.jp



ホームページ

札幌市から「認知症の方にもやさしいお店・事業所」に 当社の店舗107店舗が登録されました

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、札幌市から札幌市「認知症の方にもやさしいお店・事業所」に登録されたお店や事業所を公表いたします。



札幌市では、12月2日（月）より、認知症を正しく理解し、対応に努める地域の事業者を求め、認知症の方の生活を支えることに取り組む「認知症の方にもやさしいお店・事業所」登録制度を開始しました。これは「認知症の方にもやさしいまちづくり協力宣言」をしている地域の身近なお店・事業所を、札幌市が「認知症の方にもやさしいお店・事業所」として登録する取り組みで、当社の「イオン」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」「まいばすけっと」など107店舗が登録されました。

12月18日（水）にも、札幌市「認知症の方にもやさしいお店・事業所」登録会が実施され、札幌市より登録書を授け、ステッカーを交付されました。当社では今後、登録された店舗にてサービス向上に関するポスターやチラシの掲示を行うほか、希望に応じて認知症の方への対応の心得を周知し、認知症について理解を深め、認知症の方にもやさしいお店づくりに取り組んでいきます。

当社は高齢者とともに、これからの認知症の方が暮らしやすくなる社会の実現を目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

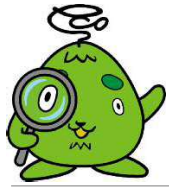
イオン北海道株式会社 総務・社会貢献・広報・1階 総務課 011-858-9111

札幌市「認知症の方にもやさしいお店・事業所」登録店舗一覧

登録番号	店舗・事業所名	業種	区	所在地	備考
1	生活協同組合コープさっぽろ	小売店	札幌市	-	市内全店舗
2	日本郵便株式会社 北海道支社	その他	全市	-	市内全店舗
3	イオン北海道株式会社	小売店	全市	-	市内全店舗 (イオン、イオンスタイル、イオンビッグ、まいばすけっと)
4	からっとはっとカフェ	その他	中央区	月宮西1条4丁目3-1	地域カフェ
5	コミュニティセンターおん	その他	札幌市	月宮西3条7丁目5-21	地域カフェ
6	コミュニティバスみちのり	その他	南区	北3条6丁目6-17	地域カフェ
7	札幌マドレーヌ製菓マドレーヌ	小売店	中央区	豊栄2条6丁目1-3	-
8	秋葉屋株式会社	その他	豊平区	中の島1条2丁目2-4	福祉工場等
9	エコーライン株式会社	その他	清田区	豊栄3条3番地51	福祉
10	The Day株式会社	その他	中央区	岡1条西16-1-323 豊野ビル3階	豊野代行
11	イムス札幌内科 リハビリテーション病院	医療機関	手稲区	手稲山124条東地	-
12	株式会社まちかど事務所	その他	西区	豊栄3条5丁目6-1	不動産
13	エフエスジャバ株式会社	その他	南区	中島1条2丁目12-17	産後ケア
14	医療法人成済会 札幌南保健会病院	医療機関	清田区	中島5条1丁目5-1	-
15	よもぎ薬局とオイルボディ aroma&wood	その他	南区	道104条1丁目4-10 シティハイム206	-
16	クオール株式会社 （旧いしはら印刷）	印刷関係	北区	新川18条1丁目7-6-9-8	-
-	クオール薬局とクオール札幌店	医療機関	中央区	北4条西1-4 東宝百貨店3階555番地	-
-	くまさん調剤薬局	医療機関	中央区	北7条西25-2-17	-
-	クオール薬局札幌区役所前店	医療機関	東区	北11条東8-1-3	-
-	元月調剤薬局	医療機関	東区	北21条東16-1-11 110札幌ビル1階	-
17	株式会社リッパロドラッグストア	小売店	全市	-	市内全店舗
18	相模堂(CO/SIラズロ)	理美容店	北区	新琴似8条6丁目1-5	-
19	-	その他	北区	-	掲載希望なし
20	社会福祉法人 恵和会 恵和病院	医療機関	豊平区	西岡4条4丁目1-52	-
21	ユニバーサルフェミナ	飲食店	南区	豊島内上1条3丁目2-12	-
22	新さっぽろ脳神経外科病院	医療機関	厚別区	厚別中央1条6丁目2-10	-
23	Café TSUDOI	その他	西区	山の手4条1丁目1 No.3 マックスビル2階	-
24	はるな製菓製菓店	洋食店	白石区	栄2丁目1丁目15号	-
25	札幌市工芸館 北のブランドショップ	小売店	中央区	北1条西2丁目	-
26	ニシロ にさんくち	飲食店	中央区	北4条西24丁目2-10	-
27	セコマート	小売店	全市	-	市内全店舗
28	アウル	理美容店	西区	二十間川4条5丁目10-18 ライオンズマンションプラザ9階104	-
29	札幌北洋高等学校	その他	東区	北15条東2丁目1番10号	-
30	有限会社清瀬新島徳事務所	小売店	北区	北19条西7丁目1-1	-

31	札幌市社会福祉協議会 生活支援センター	その他	中央区	大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉協議会センター4階	-
32	医療法人社団日本会 札幌市中央病院	医療機関	北区	北24条西4丁目3-3 さくらビル4階	-
33	一般社団法人札幌市社会福祉協議会	その他	北区	北24条西5丁目1-1	-
34	株式会社ポロツカ	その他	中央区	南2条西24丁目2-17 別荘ビルF	-
35	医療法人社団札幌市 札幌市ハートセンター	医療機関	西区	平和306番地1号	-
36	株式会社二十四軒薬局	医療機関	西区	平和2条4丁目2-11 平和マックスビル2階	-
37	ユニスマイル薬局 白石店	医療機関	白石区	南橋通1丁目北1-1 STビル2F	-
38	ユニスマイル薬局 セントラル店	医療機関	厚別区	厚別中央1条6丁目2-15	-
39	サークル薬局 豊島店	医療機関	西区	豊島1条5丁目4-26	-
40	ユニスマイル薬局 新札幌店	医療機関	厚別区	厚別中央2条4丁目15-15	-
41	株式会社ノースフーリング おおはら山の手	医療機関	西区	山の手4条7丁目1-48	-
42	-	医療機関	西区	-	掲載希望なし
43	くしおか薬局	医療機関	西区	京の沢1条5丁目7-1	-
44	豊島病院専門学校	その他	西区	豊島1条5丁目2-25	-
45	ユニスマイル薬局 西札幌店	医療機関	西区	西沢北7丁目2-11	-
46	サークル薬局 山の手店	医療機関	西区	山の手5条1丁目	-
47	札幌市二十四軒児童会館	その他	西区	二十四軒2条3丁目1-2	-

R7年8月1日現在



本日の検討事項

～認知症の方、障がいの方、家族の方、誰もが関われる場所づくりを目指して～

あらゆる人が集まれる場をつくるために専門職種と地域が連携して知恵を出し合っで話し合い、地域のどんな人が来ても良いという通いの場、認知症の方や障害のある方が参加できて、子供も誰もが参加できる通いの場所づくりについて皆様のお話を聞かせていただきたい。